油津港

油津港の概要

県南部に位置する油津港は、“県南地域の物流拠点”として本県南部の主要産業を支える港である。現在は、本港と神戸を結ぶコンテナ航路や関東方面へのRORO船が就航している。また、クルーズ船受入港として施設整備や受入体制の整備に地域一体で取り組んでいる。

将来像

県南地域の活力と発展のみなもと「みなとまち、油津」

～県南地域と大都市圏・アジアとの物流を支える港～
～観光や海洋性レクリエーション等の交流活動の活性化をサポートする港～
～市民の生活を守り、地域に安全と安心をもたらす港～

主な施策

物流
- ◆内貿ユニットロード定期航路の拡充
- ◆地元産業を支える港づくり
- ◆ふ頭の集約・再配置による利便性・安全性の向上

暮らし・環境
- ◆市民・観光客が集う憩い安らぎ空間の形成
- ◆良好な自然環境の次世代への継承

安心・安全
- ◆大規模地震発生時の津波・高潮対策
- ◆緊急物資輸送網の確保

観光
- ◆観光資源を生かした大型旅客船対応
- ◆歴史的価値を生かした魅力あるみなとづくり

◆歴史的観光資源を生かした魅力ある港づくり

弁甲船体験乗船

夢見橋

油津キャナルマルシェ

◆老朽化対策（H24～R6予定）
・1･2･3桟橋、1号岸壁、3号岸壁の補修

◆第10岸壁改良
・岸壁の耐震化（R3完成）

◆クルーズ船受入対応
・22万トン級クルーズ船受入体制
防舷材・係船柱整備（H29完成）
・ファーストポート化による受入体制整備（R1）
・上屋改修（R1完成）

◆取扱貨物の集約・再配置
・危険物取扱施設の集約化

◆第10岸壁延伸部の整備（R5～R12予定）
・大型化する船舶に対応
・増加する取扱貨物に対応

令和5年1月新船(RORO)就航

原木輸移出

◆東（外）防波堤津波対策（H28完成）

◆西沖防波堤延伸（R3～R6予定）

凡例
- 物流
- 暮らし・環境
- 安心･安全
- 観光